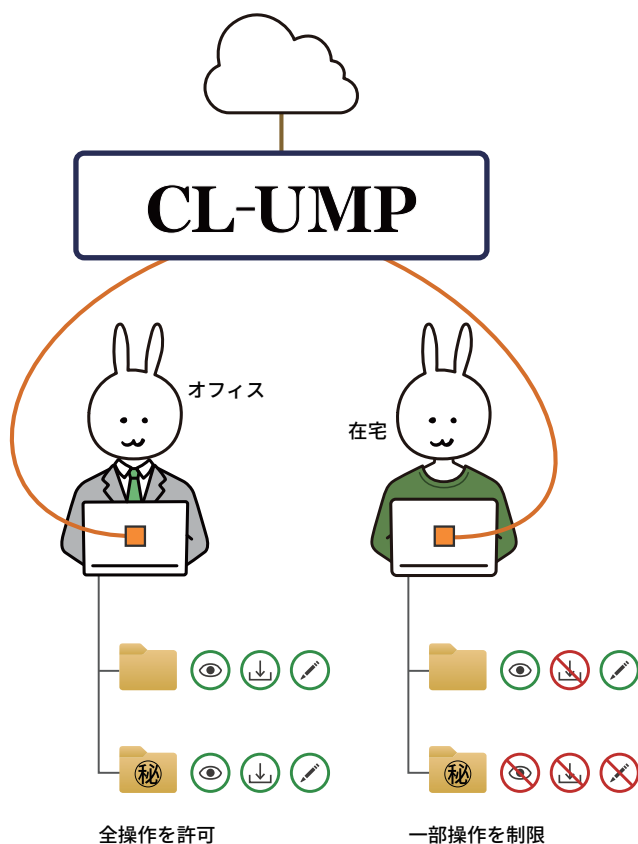


ク ラ ウ ド CL-UMP

働き方に応じて動的にアカウントの権限を自動切り替え



機能

セキュリティが保証されていない環境でクラウドにアクセスする際、自動的にアカウントの権限に制限を入れます。



効果

- ・インシデント発生時のダメージ抑止
- ・より積極的なクラウドストレージの活用
- ・職員によるシャドー IT 抑制

AAD と何が違うの？

Microsoft 社の Azure Active Directory (AAD) に、社外からのクラウドストレージサービスへのアクセスをブロックする機能があります。これはアクセス「できる」「できない」の制御しかできません。

一方、CL-UMP はクラウドストレージサービスの権限に合わせた制御が可能です。例えば、編集のみ禁止、ダウンロードのみ禁止など。会社のポリシーに合わせて柔軟な権限設定ができるのも、CL-UMP の売りの 1 つです。



アカウント＋端末環境でアクセス権限を変更

CL-UMP は、クラウドストレージへのログインを行った際に、自動で端末環境を識別。予め管理者が設定したアクセス権限に切り替えます。

1 人 1 アカウントで運用可能

これまで、ネットワーク毎にアクセス権限を変更する際、1 人が複数のクラウドストレージアカウントを持つ必要がありました。しかし、CL-UMP は対象のアカウントのアクセス権限を能動的に変更するため、1 人が複数のアカウントを持つ必要はありません。

ユーザーによる特別な操作は不要

ユーザーによる特別な操作は不要。従来通り、クラウドストレージへのログイン操作を行うのみ。意識する必要はありません。

動作環境

OS Windows 10 22H2 64bit / Windows 11 22H2 64bit

対応ブラウザ Microsoft Edge バージョン 96 以降
Google Chrome バージョン 88 以降

お問い合わせ・評価・デモはこちらまで



SCIENCE PARK

サイエンスパーク株式会社
sales-products@sciencepark.co.jp